

にしめら 議会だより



2017 8月

No.146

発行：西米良村議会

- ◎ 平成29年第2回定例会 P2
- ◎ 現地調査 P3
- ◎ 一般質問 P3
- ◎ 三市町村国道219号整備促進合同協議会活動報告 .. P5
- ◎ 総務文教常任委員会行政調査報告 P6

二つの部活動を行っているが、部員数の少ない中で、各種大会において優秀な成績を収められていることは大変素晴らしいことだと感心しているが、それぞれの部活動経験者の先生が赴任され顧問に就かれることが中々無いなかで、結果を残されているのは勤務外に顧問になった部活動の指導方法やルールの熟知など目には見えない部分での苦労があつてのことだと考えている。

て、平成28年度2年生の状況を見ると、土日の部活動時間が全国平均と比べ男子で約58分、女子で41分長く、また土日に休養日を設けている割合は60・2%となっており、部活動の指導等に当たる教職員の負担軽減対策が必要となつている。

西米良中の部活動運営については、大会や練習試合等を除く土日の1日当たりの平均時間は、全国及び県平均を下回っており、28年度より毎週月曜日に村営塾を開始したことに伴い、基本的に月曜日を部活動の休養日として設定しているほか、家庭の日として第3水曜日も休養日として取り決めて運営しているところだ。

部活動配置については、教員全員がいずれかの顧問または副顧問になっており、特定の先生のみが負担が偏らない配置がなされているほか、地域の指導者やメラスポチャレンジクラブの指導者など学外の指導者と連携し経験のない競技を受け持つ教職員の負担軽減にも繋がっているものと考えている。

顧問になられた先生方の中には、学年担任になられている先生もおり通常業務にも少なからず影響があるのではないかと考えているが、本村における実態と顧問になられた先生方への負担軽減について、どのような取り組みをなされているのか伺いたい。

教育委員会においても部活動の問題を含め、まず教職員の出勤管理など学校現場の実態を的確に把握するとともに学校全体の業務を整理し、教職員の働きやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えているところです。

【教育長】宮崎県の現状として、平成28年度2年生の状況を見ると、土日の部活動時間が全国平均と比べ男子で約58分、女子で41分長く、また土日に休養日を設けている割合は60・2%となっており、部活動の指導等に当たる教職員の負担軽減対策が必要となつている。

西米良中の部活動運営については、大会や練習試合等を除く土日の1日当たりの平均時間は、全国及び県平均を下回っており、28年度より毎週月曜日に村営塾を開始したことに伴い、基本的に月曜日を部活動の休養日として設定しているほか、家庭の日として第3水曜日も休養日として取り決めて運営しているところだ。

部活動配置については、教員全員がいずれかの顧問または副顧問になっており、特定の先生のみが負担が偏らない配置がなされているほか、地域の指導者やメラスポチャレンジクラブの指導者など学外の指導者と連携し経験のない競技を受け持つ教職員の負担軽減にも繋がっているものと考えている。

ユニバーサルデザインの導入を ▼ 幸せの高い方法 村づくりに有効な



中武 智和

ユニバーサルデザイン（以下UDという。）とは、特別な製品や調整なしで最大限可能な限り、すべての人々に利用しやすい製品、サービス、環境のデザインのことを言います。7つの原則に基づきその発想を行うものである。このことに基づき、村民はもとより、新たな定住者や観光等で本村に訪れる方などすべての人が利用しやすい環境整備といった観点から、今後整備予定の施設にも積極的に導入を図ることが必要である。

あり、既存施設についても利用頻度など様々な点から検証を行い、駅周辺等における視覚障がい者誘導ブロックや点字案内、英字案内、外国語、手話等の通訳者育成などを進めていく必要があると思うがどのようにお考えか。

【村長】UDは本村の施策に反映させるべき重要な考え方であるということについては仰せのとおりだと同感する。村内の状況は、公共施設、観光施設などについて弱者側に立った配慮が必ずしも十分とは言えない。村営住宅や公民館施設の段差解消、障がい者用トイレの整備などバリアフリー化を中心とした対策を少しずつ進めている。今後は大きく次の2点について取り組んでいきたい。

第1点目はハード面の整備である。公共施設等の管理、整備においては

三市町村国道219号整備促進合同協議会活動報告

三市町村「西米良村、湯前町、西都市」議会において5月16日に西都市、西米良、湯前町の現地調査、7月18日には宮崎県、熊本県へ整備促進等の要

望活動を行いました。この要望活動は今年で50回（50年）目を迎えました。これまでご協力ご尽力頂いたすべての皆さまの思いを改めて心に刻

み、一日も早く全線改良されるよう今後も要望活動をしっかりと行っていきます。



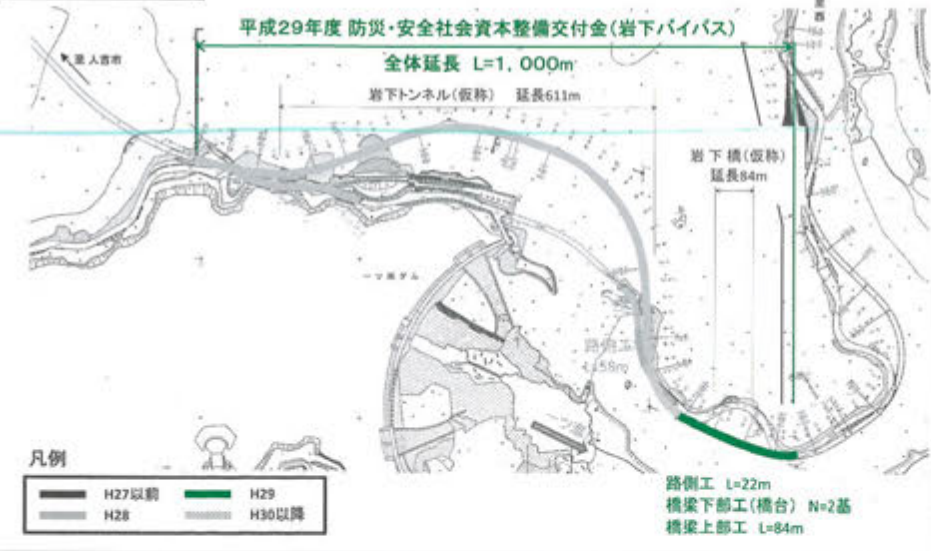
UDの考え方を可能な範囲で取り入れた利用しやすい施設づくりに心がける。

第2点目はソフト面でのUDの推進である。ハード面の改善の限界を補完するにはソフト面の取り組みが必要である。職員はもとより村民の意識の中に心のUDの醸成が必要であり、今後豊かで幸せの高い村づくり、人づくりを目指す本村にとってUD導入は有効な方法の一つでありそのような村づくりに取り組みます。



村所駅

岩下ハイパス



国道219号 道路改良工事 (小春ハイパス、越野尾工区)



総務文教常任委員会行政調査報告

7月5日から7日にかけて行政調査を行いました。調査地は、沖縄県国頭郡東村と伊江村です。東村では、昭和60年頃まで2千人台を維持していた人口が平成に入り減少が進んでいる状況にある中で、低家賃の住宅や育

児支援などの定住促進に力を入れ、人口増加のターゲットを子育て世代とし、2010年からの6年間で村内外より35世帯114名が定住促進住宅に入居した実績をあげられたそうです。入居者の内訳としては、半数以上は村出身者で沖縄以外は1割位ということでした。住宅の種類としては、戸建てタイプとアパートタイプの2種類があり、基本10年は住むことと決められているが、理想と



住宅の建築については、戸建てタイプより規制が緩く収益を上げる為に空き室が出ないようにしているため空き室が無い状態になっているとのことでした。住宅の建築については、戸建てタイプより規制が緩く収益を上げる為に空き室が出ないようにしているため空き室が無い状態になっているとのことでした。



戸建てタイプ住宅

居場所の提供もされていることでした。高齢者福祉については、有料の配食サービスや憩いの場として、毎週月曜日

各地区より要望と建設用地の情報を頂き、計画をされていると聞き、過疎化に対する各地区の意識の高さを感じたところで。児童福祉では、様々な子育て支援に取り組みされており、保育料の負担軽減支援や高校生卒業までの医療費助成や社協にて夕方に幼稚園と小学生の

ピーク時には毎日となつてしまいが、受け入れ側にも配慮し週に一回は休養日を設け受け入れをしない日をつくっているとのことでした。

受け入れの民泊軒数は、観光協会で85軒と民間業者100軒で行っているそうです。

始まりは、平成15年で3校からスタートし、現在では300校を超え人数は5万人の生徒が訪れている状況だそうです。

民泊の内容は、それぞれの家庭で異なるが農業や漁業の仕事などの体験を行うことで、伊江島での暮らしを体験してもらい教育に繋げて行くという考えだそうです。

期間は、一泊二日が半分以上で、港のそばの施設で、受け入れ側と生徒の対面式(入村式)を行



より言われたこととが、この島には杉も無ければ竹も無いと言われたことに自然を売りに行っている本村にとって、目からうろこのことばでした。改めて視点を

設で、受け入れ側と生徒の対面式(入村式)を行

いそれぞれに別れて行き、また帰る際には、離村式を行い三線を教

えてもらった生徒が居れば演奏を披露してもらっています。

生徒がフェリーで帰る際には汽笛を鳴らすなどの演出も行うなど生徒の満足度を高めることも行

っているそうです。受け入れ側の対応としては、事前に情報を提供

して頂き、受け入れ民泊さん全員を集めて事前説明会を行い、しっかり情報を伝えて受け入れを行

つて頂いているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

りにしているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

りにしているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

りにしているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

りにしているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

りにしているそうです。伊江村での調査で、沖縄という知名度には到底敵わないと感じたが、帰

す大変有意義な調査となりました。以上報告致します。



西米良村議会議長が町村議長会長に就任

去る6月6日に行われた、宮崎県町村議会議長会臨時総会において、本村議会濱砂征夫議長が会長に就任されました。

黒木定藏宮崎県町村会会長に続く宮崎県会長職就任であり、本村の振興・発展の為にご尽力、ご活躍を頂きます。

スポーツ少年団県大会で村所少剣が準優勝

第53回宮崎県スポーツ少年団中央大会が6月25日(日) KIRISIMAツワブキ武道館で開催されました。村所少剣男子チームは決勝リーグに勝ち進み、決勝戦では惜敗したものの準優勝という成績を収めました。同チームは県代表として、8月5日(土)・6日(日)に佐賀県で開催される第37回九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会に出場します。

九州大会の選手を紹介します。選手の皆さん九州大会でも全力をつくして頑張ってください。

Aチーム

先鋒 中武 瀬成
次鋒 吉丸 惇稀
中堅 那須 翼
副将 牧 尚汰
大将 兒玉 大夢
補欠 渡邊 貴紀

Bチーム

先鋒 中武 橙哉
次鋒 渡邊 未来
中堅 濱砂 友輝博
副将 河野 孝紀
大将 黒木 琉偉
補欠 濱砂 孔宇基



県大会準優勝「村所少剣チーム」

編集後記

人口35人の住民が開催しているホテル鑑賞会に1000人以上の方が訪れているとの記事を読みました。その地区で収穫された無農薬・無化学肥料栽培のホテル米は全量直販で直ぐに完売してしまうそうです。本村でも板谷地区で蛸の里づくり事業を展開されています。多くの方にホテル観賞にきて頂きたいですね。

広報委員構成が一部替わりました。議会広報の更なる充実に向けて参りますのでどうぞよろしくお願ひします。

(こうき)



議会広報編集特別委員会

委員長 白石 幸喜
副委員長 中武 智和
委員 濱砂 勝義
委員 上米良 玲